

**JBL4350A の再構成(6)**  
—スーパーツイーターの再構成(2)—

1. はじめに

前報(5)では JBL4350A のスーパーツイーターの設置個所や接続変更を行い、主としてアナログ再生でその効果を確認しました。今回、STAGE+の配信音源をじっくり聴いていきます。

2. JBL4350A の再構成と試聴方法

PIONEER PT-R7 と TAKE T の BAT ONE およびスーパーツイーター用ムジカライザーの設置状況は前報(5)のとおりです。

前報(5)では次の STAGE+の配信音源を確認のために試聴しました。再度これらを試聴した後、音源の追加で試聴していきます。

シューベルト ピアノ 5 重奏曲「鱒」

リサ・パテイアシュビリ(ヴァイオリン)他

ベートーヴェン 後期ピアノソナタ

マウリチオ・ポリーニ(ピアノ)

追加の音源は下記のとおりです。

ウジェーヌ・イザイ 無伴奏ヴァイオリンソナタ集

ヒラリー・ハーン(ヴァイオリン)

J.S.バッハ 無伴奏ヴァイオリンソナタ・パルティータ

シュロモ・ミンツ(ヴァイオリン)

シャルル・グノー ロミオとジュリエットより「私は夢に生きたい」

ナデーナ・シェラ (ソプラノ)

マチュー・ヘルツオーク指揮アパッショナート

J.S.バッハ クリスマスオラトリオ

エリオット・ガーディナー指揮イングリッシュバロックソロイスト

J.S.バッハ Goldberg 変奏曲

ラン・ラン(ピアノ)

3. JBL4350A の試聴結果

シューベルトのピアノ 5 重奏曲「鱒」は、前報(5)では、「予想外にパテイアシュビリのヴァイオリンも滑らかで、コントラバスの音は明瞭で量感に富みメロディラインの音階が追える。」と記載しましたが、その確認が取れ、取り分けコントラバスの

量感は、JBL4350A ならでのものです。

ベートーヴェンの後期ピアノソナタは、前報(5)では、「ポリニーの弾く Fabbrini の量感ある迫力が味わえる。」と記載しましたが、その確認が取れ、ヘラクレスザールに響き渡る Fabbrini の低音の響きの迫力は特筆すべきものです。

イザイの無伴奏ヴァイオリンソナタ集でのハーンのヴァイオリンは、きつくなりすぎるぎりぎりの手前で、エッジの効いた透明度の高いスリリングな音を聴かせてくれます。一方で、4 番 2 楽章のピチカートは繊細な表現も再現できています。

バッハの無伴奏ヴァイオリンソナタ・パルティータは、イザイと同様、JBL の苦手なジャンルですが、透明度の高いスリリングなボウイングを聴かせてくれます。

グノーの「私は夢に生きたい」のシェラのソプラノでは、パリのサル・ガボーというホールいっぱい響きわたるダイナミックな歌唱が聴かれます。

バッハのクリスマスオラトリオは、ソリストの歌唱は会場いっぱい朗々と響き、古楽器の質感も十分です。合唱は JBL4350A のスピーカーユニット構成が複雑なため、すっきりとはしにくいところがあります。

バッハの Goldberg 変奏曲は、ピアノが教会内部に美しく響きます。

#### 4. まとめ

PT-R7 と TAKE T の BAT ONE の設置個所の変更とムジカライザー経由とする接続方法の変更を行い、STAGE+のデジタル音源も粗さが目立たず、スーパーツイーターに電解コンデンサー付きのムジカライザーを接続する効果は一応あったものと言えます。また、受信ラインの仮想アースや LAN iSilencer の効果も確認できました。

以上